

琴線 令和七年

森野 水琴

詠進歌 えいしんか

時を越え 天まで届け 言の葉よ
睦月の美空 夢叶いたり

初めに詠みし歌

時を越え 天にも届く 言の葉は
晴れやかなりと 夢に見るらむ

人知れず 咲く花を愛で 和む時
また逢いたしと 思う心よ

この花を 守りたいとて 通う日々
また来る春も 咲き誇らせむ

おだやかな 日ざしを浴びて 咲く花の
ほほえみを見て 心なごまむ

そよ風が 運ぶ調べに 耳を立て
より生き生きと はずむ心よ

二年ぶり 神田の神輿 みこし 担ぎ見る かつ

乙女の涙 心を洗う

わが文 ふみを 読む声を聞き 微笑みて
さらに続きを したためるかな